

第12回日本医療情報学会看護学術大会 一般演題募集要項

第12回日本医療情報学会看護学術大会
大会長 池上 峰子(神戸大学医学部附属病院)
プログラム委員長 瀬戸 僚馬(東京医療保健大学)

1. 演題の種類

第12回日本医療情報学会看護学術大会では、一般演題として「口演」と「示説(ポスター)」の2種類を募集します。口演と示説は発表方法上の違いであり、学術的な価値は同等です。

なお、本大会では、示説のうち希望される方に電源を提供いたします。これにより、従来の紙のポスターに限らず、映像機材などを用いた発表やデモも可能です。

2. 募集テーマ

看護と情報に関する実践的なテーマを広く募集します。病院情報システム、地域連携における情報共有、看護計画・看護記録、医療安全における情報技術の活用、看護サービスの評価などが考えられますが、これに限りません。なお、本年においては特に災害と看護情報に関するテーマも重視します。

3. 応募資格

特に定めません。どなたでも応募できます。

4. 応募方法

大会ホームページから、一般演題申込書をダウンロードして下さい。

必要事項を入力し、2011年5月13日(金)18:00までに下記のアドレスまでお送り下さい。

プログラム委員会 E-mail: ni2011program@mail.jami-ni.jp

5. 採否通知

ご応募頂いた演題はプログラム委員会で審査の上、5月23日(月)までに通知いたします。

なお、会場の都合上、採択通知の際に発表形式の変更をお願いする場合があります。参加者層を考慮し、看護学術大会の口演枠では実践的な演題を優先しております。これは、日本医療情報学会が主催する3大会の特徴を踏まえた措置ですので、ご理解をお願い致します。

6. 抄録の作成

採択された演題については、論文集掲載用の抄録を作成頂きます。論文集は、テンプレートに合わせて2ページまたは4ページで作成し、5月31日(火)18:00までにプログラム委員会までお送り下さい。

7. その他

東日本大震災で被災された地域の方や、被災地において救援活動を行っている方などで、発表に際して特別な配慮を必要とする方は、遠慮なくプログラム委員会にご相談下さい。